

研究分担者 中尾 一泰 国立循環器病研究センター

我が国の心不全診療実態を明らかにするため、心不全患者の慢性期治療において推奨されている、ガイドライン推奨薬剤の処方率について循環器病実態調査を用いて我が国の741病院で検討をおこない、各病院間にばらつきを認めることを明らかにした。また、ガイドライン推奨薬剤処方率が心不全再入院率と負に相関することが明らかになった。

A. 研究目的

心不全患者の慢性期治療において推奨されている、ガイドライン推奨薬剤の処方率が心不全による再入院に関連するか検討すること。

B. 研究方法

国立循環器病研究センターが日本循環器学会と共同研究を行っている循環器病実態調査（JROAD-DPC）を用いて、検討を行った。2014年度データを用いて、我が国の741病院に心不全で入院した84325名において入院時もしくは退院時の心不全治療薬（ACE-I/ARB、β遮断薬、スピロノラクトン）の処方率について検討を行った。

さらに、各薬剤の処方率が1年以内の心不全の再入院に関連するかについて検討をおこなった。

C. 結果

ガイドライン推奨薬剤の処方率はACE/ARB 中央値55% [四分位範囲:44%-65%] β遮断薬 55 [43-65]であった。一方、スピロノラクトンの処方率は49 [38-57]とACE-I、ベータ遮断薬と比較して低率であった。1年以内に14520名が心不全により再入院した。心不全再入院において、各薬剤の病院毎処方率、第1四分位(Q1)を基準としたときのQ4のオッズ比は、ACE/ARBで0.86(95%信頼区間 0.81-0.91 : P<0.001) β遮断薬 0.82(0.77-0.96 : P<0.001) スピロノラクトン 0.87(0.82-0.92 : P<0.001)であった(図)。

D. 考察

我が国の心不全診療において、心不全のガイドライン推奨薬剤のうち、ACE/ARB、β遮断薬の病院毎の処方率と比較し、アルダクトンの処方率はやや低いこと、各薬剤とも、施設間のばらつきの存在が示唆された。また、各薬剤とも処方率の高い病院においては、処方率の低い病院に比し再入

院率が低いことが示唆されたことから、心不全慢性期のガイドライン推奨薬剤の適正化により心不全患者の再入院を減らせる可能性が示唆された。

E. 結論

心不全の慢性期のガイドライン推奨薬剤の処方率にばらつきを認めた。また、推奨薬剤処方率と再入院は負に相関していた。

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Nakao K, Yasuda S et al. Prescription Rates of Guideline-Directed Medications Are Associated With In-Hospital Mortality Among Japanese Patients With Acute Myocardial Infarction: A Report From JROAD - DPC Study. J Am Heart Assoc. 2019 Apr 2;8(7): e009692.

2. 中尾一泰 安田聡

JROADおよびJROAD研究

日本臨床 心不全(第2版) 上 101-106

2. 学会発表:なし

H. 知的財産:なし

図

ガイドライン推奨薬剤の処方率(四分位)と再入院

1年以内の心不全による再入院 14520名
 各薬剤の病院毎処方率、第1四分位(Q1)を基準としたときのQ2-4のオッズ比を算出した。

	Q1			Q2			Q3			Q4		
	OR	OR(95% CI)	P	OR	OR(95% CI)	P	OR	OR(95% CI)	P	OR	OR(95% CI)	P
単変量解析												
ACE-I/ARB	1.00	1.01 (0.95-1.06)	0.84	0.99 (0.94-1.04)	0.72	0.81 (0.77-0.86)	<0.001					
β遮断薬	1.00	0.93 (0.88-0.98)	<0.01	0.92 (0.87-0.97)	<0.01	0.76 (0.72-0.80)	<0.001					
スピロノラクトン	1.00	0.94 (0.90-0.99)	<0.01	0.87 (0.83-0.92)	<0.001	0.84 (0.80-0.88)	<0.001					
多変量解析*												
ACE-I/ARB	1.00	1.02 (0.96-1.08)	0.49	1.02 (0.97-1.08)	0.41	0.86 (0.81-0.91)	<0.001					
β遮断薬	1.00	0.95 (0.90-1.00)	0.077	0.96 (0.91-1.01)	0.14	0.82 (0.77-0.86)	<0.001					
スピロノラクトン	1.00	0.96 (0.91-1.02)	0.18	0.90 (0.86-0.95)	<0.001	0.87 (0.82-0.92)	<0.001					

*調整因子: 年齢、性別、チャールソンスコア、NYHAクラス